

学校 教育 目標	『「ゆめっ子」の育成 ~自信をもてる自分をつくる、信頼し合える真の仲間をつくる、地域に貢献できる人をつくる~』 本校の児童を夢の実現に前向きに取り組む「ゆめっ子」ととらえ、学校教育目標を設定した。					
	◇学び合い、助け合い、粘り強く取り組む子を育てます。(知) ◇自分を認め、仲間を認める子を育てます。(徳) ◇心豊かで、身体健やかな子を育てます。(体) ◇このまちや人を愛し、このまちや人につくす子を育てます。(公・開)					
学校 概要	創立 144 周年	学校長	下畝 直人	副校長	高木 聡子	2 学期制
	一般学級: 13	個別支援学級: 3	児童生徒数: 423 人			
主な関係校: 西谷中学校 市沢小学校 鶴ヶ峯小学校						

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
◇自分づくり ・自己肯定感 ・伝え合うことで自分の考えを深化させる力	西谷中学校 市沢小学校 鶴ヶ峯小学校	◇自分も他の人も大切にし、人や社会とつながる子ども ◇自分の考えを表現し、ともに学び合う子ども ・学習のつながりや効果的な学習方法を研鑽するための小中合同授業研究会の開催。昨年度:鶴ヶ峯小 今年度:西谷中 ・児童生徒指導上の情報交換と小中9年間の生活習慣や規範意識の育成

中期 取組 目標	本市の人権教育推進に向けた2つの理念『「誰もが」「安心して」「豊かに」生活できる学校をめざして』『人とのつながりから学び、自分も他の人も大切にできる子どもの育成』を学校経営の基盤に置き、本校の児童を夢の実現に向けて前向きに取り組む『ゆめっ子』ととらえ、その育成に向けて次の3点を取組目標とする。 ◇自ら学習に取り組み、自分に自信のもてる子を育てます。(自分で考え行動できる子) ◇すすんであいさつし、思いやりの心をもって、自他を大切にすることを育てます。(人に優しくできる子) ◇まちとのかかわりを大切に、自分たちの「まち」を大切にすることを育てます。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①学習スタンダードを基に、児童の学び合い、認め合いに視点を当てた授業を展開する。②『資質・能力を育成し、自己肯定感を高める学びの創造』をテーマに算数科の研究に取り組む。③少人数指導、T T、取り出し授業、朝学習、家庭学習等、様々な学習の機会を捉えて基礎・基本の定着を図る。
担当 学習評価・教育評価	
豊かな心	①人権教育を教育活動の基盤に置き、「人とのつながりから学び、自分も他の人も大切にできる授業」をテーマに授業を行い、児童の人権意識の向上を図る。②同学年、異学年、地域、保護者等、人と関わる交流活動を充実することで児童の他者意識の育成を図る。
担当 人権・福祉	
健やかな体	①「一校一実践運動」に持久走(ラン・ラン・ランニング)を取り上げ、通常の体育科の学習指導に加え中休みの時間を通して体力の向上を図る。②「早寝・早起き・朝ごはん・すっきり歯磨き」を合言葉に規則正しい生活をする姿勢を培い、学校保健委員会や元気カード等の活動に継続的に取り組む。
担当 体育部	
児童生徒指導	①児童支援委員会を中心に児童情報の共通理解を図り、教職員が同じ方向性をもって組織的且つスピード感をもった支援を行う。②西部事務所や区役所、児童相談所、警察等、関係機関との連携を図る。③学校スタンダードを指針として、具体的な場面を通して児童指導を行う。
担当 児童指導	
自分づくり教育 (キャリア教育)	①生活科、総合的な学習の時間を中心に、学校の強みを生かした地域の学習材や人材を活かした教育活動の充実を図り、「社会に開かれた教育課程」の実現を推進する。②学校行事、学年行事を児童実行委員会を中心とした活動にすることで児童の自己肯定感の育成を目指す。
担当 教育課程	
特別支援教育	①児童の実態や困り感、保護者の願いを受けた個別の教育支援計画を立て、児童一人ひとりに寄り添った丁寧な支援を推進する。②かがやきルームでの取り出し授業の精度を高め、個に応じた指導の充実を図る。③ねらいを明確にした個別支援学級と一般学級児童の交流の充実。
担当 児童指導	
地域連携 学校運営協議会	①学校運営協議会を核に学校と保護者、地域との連携をより一層強化し、学校との信頼関係を深め、学校運営の改善や児童の健全育成に取り組む。②地域の行事に積極的に参加したり、「あいさつ」の習慣を身に付けたりすることでまちを愛する心情を養う。
担当 学校運営	
いじめへの対応	①いじめアンケートや「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を活用し、児童理解と学級経営に生かす。②「いじめ防止対策委員会」を定期的に開催することで組織的な情報共有、対応方針の共通理解を図り、いじめ防止に努める。③児童が相談しやすい教室風土を作り、自己肯定感の育成を図る。
担当 いじめ防止委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①重点研究(算数科)、メンター研修を充実させ、教員一人ひとりの授業力向上を図る。②毎週実施する主幹会議を核とし、主幹教諭のマネジメント力を向上することで、主幹教諭が組織的に各部署を運営する組織に変えていく。③ICTを中心とした環境整備、高学年教科分担制、職員室アシスタント配置の効果的な運用を検討することで、教職員の負担軽減を図る。
担当 校内研修・学校運営	